

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味についての理解を深め、用いることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 ・具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定について理解できるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにする。 ・具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。
--------	---

学期	学習内容・到達目標	学期	学習内容・到達目標
前	<p>ひょうとグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフから、整理した資料の特徴をとらえることができる。 ・簡単な資料を分類整理して、表やグラフに表したりよんだりすることができる。 <p>1000までの数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十進位取り記数法にのっとり3位数を表したり、数直線上に3位数の位置を表したりすることができる。また、10を単位とした加減ができる。 ・3位数の表し方、百の位の意味がわかる。 <p>たし算のひっ算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2位数)+(2位数)で繰り上がりなしや、繰り上がりありの計算が筆算でできる。 ・筆算のしかたがわかる。 <p>ひき算のひっ算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2位数)-(2位数)で、繰り下がりなし・繰り下がりありの計算が筆算でできる。 ・筆算のしかたがわかる。 <p>いろいろな形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な平面図形を組み合わせたり、囲んだ線で形を表したりすることができる。 <p>とけい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計の長針や短針の示す目盛りの意味がわかる。また、時刻のよみ方、模型の表し方がわかる。 <p>たし算とひき算(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題場面とテープ図を対応し、立式し計算することができる。 <p>長さ(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位cmとmmを単位として測ることができる。 <p>かけ算(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗法の意味を理解するとともに、乗法の答えは、同数累加と同じ答えになることがわかる。 	後	<p>かけ算(2)(3)(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗法のきまりを用いて、手際よく九九を構成するとともに2の段から9の段、及び1の段の九九を使うことができる。 <p>長さ(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位mとcmとmmを単位として測ることができる。長さのたし算ひき算ができる。 <p>1000より大きい数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十進位取り記数法の仕組みに気づき、数の相対的な大きさをとらえることができる。 ・4位数の表し方がわかる。 <p>三角形と四角形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの形の観察や構成・分類などの活動を通し、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。 <p>たし算とひき算(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープ図をよみ取り、加法と減法は逆になっていることを説明できる。 ・テープ図をよみ取り、立式することができる。 <p>2年のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生で学習したことに進んで取り組んだり見直したりして、学習のまとめを意欲的にすることができる。
期		期	

算数科の評価

・算数科では四つの観点で評価します。

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

・次のような方法で見していきます。

発言内容	ノートのまとめ方	プリント	ドリル	学習態度	練習問題	取り組む様子	作品作り
テスト	長さの計測						

おうちの方へ

ブロックなどの半具体物を使った操作活動を取り入れて、わかる授業をめざします。マス計算やプリントなどを用いて、基礎・基本の定着を図ります。励ましの言葉かけをしていただきますと、より学習効果が上がると思います。